

空衛ふくしま

発行所 一般社団法人福島県空衛衛生工業協会
発行人 松原 兼一
〒960-8021 福島市霞町9-23 (福島管工事会館)
電話 (024)526-2036

謹賀新年

初春のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願いたします。
一般社団法人 福島県空衛衛生工業協会

1月29日に新春講演会

県総合設備協会 幹事会(会長)は1月29日午後5時半から、福島市のホテル辰巳屋で平成28年新年賀詞交歓会を開く。賀詞交歓会に先立ち午後4時から新春講演会。県土木部管轄課の新田三男主幹を講師に招いて講話を聴く。

快適空間創出へ 誇り持ちまい進

平成28年 年頭のごあいさつ
一般社団法人 福島県空衛衛生工業協会
会長 松原 兼一



故から丸5年を向かえつつあり、本県においては、除染・廃棄物処理問題、避難者の帰還、風評被害等、原子力災害克服に向けての多くの課題が残っていますが、復興公営住宅の整備促進、環境創造業として、さらなる連携・ども建設産業全体の大き取り組みを進め、災害にな目標である地球環境の強い建築設備工事の完成 安全のため、省エネルギーの目的として、社会への避難者の帰還、風評被害を指すとともに、安全ギア・再生可能エネルギー貢献と役割を果たしていくためのにも、技術革新への対応、技術の研鑽に努め、未来を担う技術者・技能者の確保・育成を図り、そして、市場環境変化に対応する経営改革に取り組み、業界の地位向上・発展に努めて参ります。皆様には本年も一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

復興の流れ より確かに

明けましておめでとう。センター本館等の拠点施設のごさいます。会員の皆様をはじめ、関係各位にお生への歩みが着実に進んかれました。つつがなでい。さらに、復興の流れをく新春をお迎えのこと心より喜び申し上げます。東日本大震災、原発事故は、地域に根差した企業

地域に根差す企業の力発揮

復興の新たなステージに向けて 果敢にチャレンジ

しており、復興はまだ途上です。その一方で、昨年はふたば未来学園高等学校の開設を始め、環境創造センターなどの復興を支える拠点施設の整備進展や文化・スポーツでの若者の活躍など、明るい光が着実に広がりをみせております。県民の皆さんがより一層復興を実感できるように、昨年末に改訂した復興計画に



福島県知事 内堀 雅雄

「再生は最優先課題であり、環境回復や生活再建は、もちろん、医療や公共交通などの広域的な課題への対応やインバウンドコースの推進、航空宇宙関連産業の活性化など、風評・風とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年の

協会HPを開設

当協会は、協会の事業や取り組みについて情報発信するため、インターネットのホームページを開設。昨年11月1日から公開した。

総務委員会(有賀行秀委員長)が平成28年度事業で作成した。トップページには「地球環境保全のために、省エネルギーによる低炭素社会づくりを目指して」のテーマを掲げ、空調・衛生工事を通じて地球にやさしい環境づくりに取り組む、協会の運営方針を明示している。

コンテンツは、組織、成り立ち・目的・事業内容など協会の紹介と、会員情報(正会員、賛助会員)のデータベース、会員の施工した主な工事実績などで構成。機関紙・空衛ふくしまも掲載している。アドレスは<http://www.f-kuei.jp/>

人・街・未来へ
株式会社 小泉東北
代表取締役 湯浅 裕達
本社 〒963-8041 福島県郡山市富田町愛宕前47-1
TEL024(952)1211(代)
仙台営業所 TEL022(372)7002(代)
会津営業所 TEL0242(32)9811(代)
石巻営業所 TEL0225(25)7445(代)
仙台南営業所 TEL022(797)7081(代)
株小泉 〒167-8555 東京都杉並区菰野4-32-5
TEL03(3393)2511(代)

空調・衛生・管工機材の総合商社
富士機材株式会社
■郡山支店 ■
〒963-0725 郡山市田村町金屋字下夕川原167-4
TEL (024) 941-3621
■いわき支店 ■
〒972-8316 いわき市常磐西郷町銭田107-15
TEL (0246) 72-1571

TOTO 代理店
タカムラ TAKAMURA
〒960-0180 福島市鎌田字卸町13番地の5
TEL (024) 553-1464(代)
営業所 福島・郡山・いわき・会津・水戸・仙台・取手・宇都宮・さいたま・タイル部・未来工房

水道資材総合商社
DAI SAN 太三機互株式会社
本社 〒104-0031 東京都中央区京橋3-9-6 G・M-3ビル5階
TEL03(3561)8761(代)
●福島営業所 福島市吉倉字前田15-1 TEL024(546)3101
●いわき営業所 いわき市内郷御殿町1-162 TEL024(627)7589

SEDIA SYSTEM
郡山 S C (024)945-2105
会津若松 S C (0242)23-1122
いわき S C (0246)24-2266
福島 S C (024)535-0201
白河 S C (0248)27-2911
元気で快適な生活環境を提案する会社です ●
渡辺パイプ株式会社



福島県土木部長 大河原 聡

復興・再生へ取り組み加速

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
東日本大震災から5年目となる新年を迎えました。
建設産業界や県民の皆様とともに復旧・復興事業に取り組んできたことにより、昨年3月の常磐自動車道の全線開通を始め、会津縦貫北道路4工区や国道288号船引バイパス1工区などの本県の復興を支援する道路の整備や、復興公営住宅や県の未来を創造する拠点施設の整備など、県内各地で復興・再生に向けた公共土木施設等の整備が目に見える形となって現れてまいりました。
今年度は、集中復興期間から復興・創生期間へとステージが移ります。県土木部では、被災地域はもとより、福島県全体でその地域が持っている力を最大限に発揮できるよう、全県的に公共土木施設等の整備を展開してまいります。
具体的には、復興公営住宅については、大規模な造成工事を必要とした二本松市石倉団地やいわき市北好間中川原団地など多くの団地で建築工事に着手し、全体計画4890戸全てを平成29年度末までに完成させるため、さらに整備を加速してまいります。
被災地の復興支援については、県道小野富岡線などの避難解除区域等の復興を支える「ふくしま復興再生道路」の整備や「津波被災地復興まちづくり」の推進に努めてまいります。

また、昨年9月に発生した関東・東北豪雨の災害復旧の対応については、昨年末までに全ての被災箇所について災害査定を終えたところであり、速やかに本格的な復旧工事に着手し、早期の完成を図ります。特に、被害が甚大であった南会津町の松沢川や館岩川については、復旧に合わせて河川の拡幅や橋梁の架け替え等の改良工事を実施することにより、県民の安全・安心の確保に取り組んでまいります。

これらの事業に加え、今後も災害に強い道路ネットワークの整備、土砂災害から人的被害を未然に防止するためのハード整備とソフト対策が一体となった総合的な土砂災害防止対策、良好な市街地を形成する都市基盤の整備、物流機能を強化する港湾施設の整備などを計画的に進めるとともに、予防保全の考え方に基づいた戦略的な維持管理を着実に実施してまいります。

最後に、担い手の育成・確保については、現場見学会等の協力や各種表彰制度による建設産業のイメージアップ、関係団体と連携した合同就職説明会の開催や処遇改善に向けた相談業務などに加えて、昨年4月から本格運用された改正品確法など、いわゆる担い手3法の基本理念に基づき、国・県・市町村等、公共工事の発注者が連携して発注事務の適正化に努めるとともに、建設産業界の経営安定に向けた施策を実施し、技術者の皆様が誇りと意欲を持ち続け若い技術者が数多く育っていく環境づくりに取り組んでまいります。

震災以降、復旧・復興需要の増大に伴い建設産業界を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中であっても、復興の最前線で活躍されている皆様は、本県の元気の源であり、復興の牽引役であります。

県土復興に向けて、私たちに求められているのは、さらなるスピードアップです。県土木部では、「使命」、「挑戦」、「責任」、「誇り」を復興の基本理念として被災者の方々に寄り添いながら職員1500名が丸一となって取り組んでまいりますので、安全・安心で活力に満ちた「新生ふくしま」の実現に、より一層の御協力をお願いいたします。

松原氏に国交大臣表彰

建設事業関係功労者 業界発展への功績で



表彰式に臨む松原氏

建設事業関係功労者に、松原兼一氏（三共設備株式会社代表取締役）が受賞した。表彰式は昨年7月10日、国交省内共用大会議室で行われた。松原氏は、昭和58年の当協会設立当初から、理事、浜通り支部長、副会長などとして協会運営を支え、一昨年から会長を務めるなど県内業界をけん引し続けてきた。

京極さんを会長顕彰

優秀施工者で県産産連

県建設産業界団体連合会（小野利廣会長）の優秀施工者会長顕彰を今年度、当協会から株高橋建設（株）の京極洋一さんが受賞した。京極さんは、本県建設産業界の第一線でものづくりに携わる現場従事者の誇りと意欲を高め、その能力・資質と社会的評価の向上につなげるよう実施しているもので、今年度は知事顕彰2人、県産産連会長顕彰15人が選ばれた。顕彰式は昨年10月23日、福島市の杉妻会館で行われた。受賞者、県産産連代表者、小野会長、鈴木副知事、京極さんが出席。京極さんが知事顕彰の2人に感謝状を授け、小野会長が代表に賞状を手渡した。



京極洋一さん

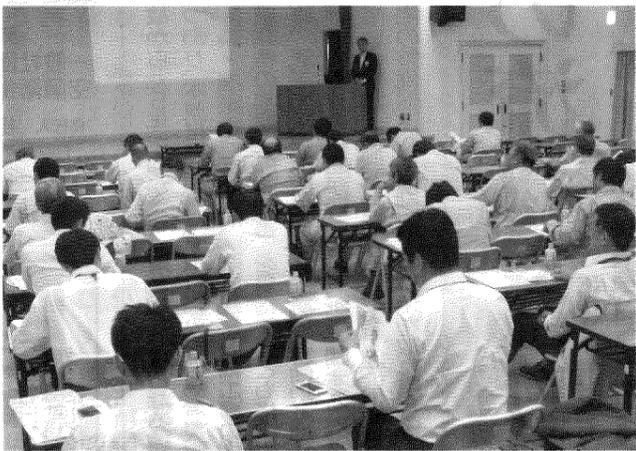
日、福島市の杉妻会館で行われた。受賞者、県産産連代表者、小野会長、鈴木副知事、京極さんが出席。京極さんが知事顕彰の2人に感謝状を授け、小野会長が代表に賞状を手渡した。

改正フロ法

法対応へ知識習得

規制強化で特別技術講習会

当協会は昨年9月9日となるフロンの排出抑制、福島市の県青少年会館で平成27年度特別技術講習会を開いた。特別技術講習会は、建設対象化したもので、冷媒充填工事に関する業務遂行上の問題を研究する。同時に、技術水準と生産性の向上を目的として、今年度は、受けた。講習会を開いた。講習会を開いた。講習会を開いた。



改正フロ法への対応について学んだ講習会

講習会では、冷媒充填工事に関する業務遂行上の問題を研究する。同時に、技術水準と生産性の向上を目的として、今年度は、受けた。講習会を開いた。講習会を開いた。講習会を開いた。

講義する佐藤部長



講習会では、冷媒充填工事に関する業務遂行上の問題を研究する。同時に、技術水準と生産性の向上を目的として、今年度は、受けた。講習会を開いた。講習会を開いた。講習会を開いた。

渡邊さん瑞宝単光章

27年秋の叙勲 専門工事業務功労で



渡邊良平さん

渡邊良平さん、このように名譽ある章をいただきましたこと大変嬉しく思っております。これも関係者皆様のご支援とご協力のおかげと思っております。感謝を申し上げます。今後は、技術に磨きをかけて、若手育成に尽力してまいります。

宝単光章を受けた。専門工事業務功労による受賞。国土交通省関係の伝達式は昨年11月9日、東京プリンスホテルで行われた。

大倉工業所3度目受賞

県優良建設工事 晴れの知事表彰

平成27年度の県優良建設工事表彰式は、内堀知事から表彰状授与された。大倉工業所は3度目受賞。今年度で47回目を数える。今回の表彰対象工事26年度竣工した農林水産部191件、土木部1350件。この中から事務所の推薦、書類・現地審査を経て、災害復旧部門を含め農林水産部8部門8件(8社)、土木部18部門23件(24社)が晴れの栄誉に輝いた。表彰式には内堀知事、小野和彦農林水産部長、大河原聡土木部長ら両部幹部と、来賓として吉田栄光県議会土木委員長、協同組合連合会長、坂本幹夫県電設業協会会長、当協会の松原兼一会長らが列席した。式辞を述べた内堀知事は、震災発生以降、厳しい条件下で復興・復興、県民生活の安全安心確保に尽力してきた地

福島県土木部建築総室 平成28年事業展望

現場主義、進取果敢で課題対応

新しい年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。皆様には、日頃本県の建築行政の推進につきまして、格段の御協力をいただき厚く御礼を申し上げます。東日本大震災からまもなく5年が経過しますが、原子力災害という重荷を背負った福島の復興はまだ途上にあります。新年度から始まる今後5年の復興・創生期間は、県が抱える被災者の生活再建や産業の再生などの課題に果敢に立ち向かい、将来にわたって復興を進めていく上で極めて重要な期間であり、本年は、その第一歩となる大切な1年であります。そのため建築総室としては、環境にやさしく、環境負荷の少ない県有建築物の整備や保全を進めるため、二酸化炭素排出量の削減を促進するとともに、再生可能エネルギーの導入に率先して取り組んでまいります。また、災害に強いまちづくりを進めるため、大地震時に落下等で被害が発生する恐れがある昇降機や高架水槽等の地震対策を図る非構造部材減災計画により、全庁的に県有建築物の減災化に取り組むこととしておりま

す。加えて、次世代に継承できる質の高い建築物「永く生きる建築」を目指して県有建築物の整備や維持管理を効果的、効率的に進めてまいります。また、昨年まで取り組んでまいりました応急仮設住宅の適正な管理、県営復興公営住宅の早期整備、民間住宅の自立再建支援、及び本県の復興に向けた拠点施設等の整備も引き続き推進してまいります。原子力災害による避難者の生活再建を図り、居住の安定を確保するため、復興公営住宅を全体で4890戸整備することとしており、これまで955戸が完成いたしました。残る戸数についても、早期整備に全力で取り組むとともに、入居者の声に耳を傾けながら、良質な住環境の提供に努めてまいります。また、復興の拠点施設となる「福島県環境創造センター本館」等が完成し、「双葉郡中高一貫校施設(ふたば未来学園)」等、大規模な施設の整備事業も着々と進んでおります。建築行政が取り組むべき課題はまだ山積してありますが、原子力災害を抱える本県の真の復興が成し遂げられるまで、「現場主義」と「進取果敢」の精神で、様々な課題にスピード感を持って挑戦し、美しく豊かで、希望と笑顔に満ちあふれた「新生ふくしま」の実現に向け、総力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様のお一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

27年度経営改善研修会

若者どう定着させるか 職場づくりの取り組み学ぶ



当協会は昨年11月25日、福島市のアオウゼで平成27年度経営改善研修会Ⅱ写真Ⅱを開いた。会員企業の経営体質強化を図るため、経営委員として開いているもの。労働力人口の減少に伴い、若い人材の確保

内堀知事から表彰を受ける大倉工業所・坂本憲弘社長

内堀知事から表彰を受ける大倉工業所・坂本憲弘社長

【受賞工事】▼寸評一本工事は、復興公営住宅建設における機械設備工事である。建築本体はPC構造を採用し、スリーブや開口部はすべて工場を組み込まれるため、関係する施工者との連携がスムーズにいく。器具は入居者の使いやすい位置を提案し、社内管理基準を設けて社内検査で確認するなど、仕上がりが良く品質管理にも工夫が見られる。配管材はプレハブ加工を行い複数班で順に施工を進め、また水圧試験のため各階に仮設給水を設けるなど作業性向上と効率化を図り作業期間短縮を実現した。複数区画同時施工となるため、現場への進入路の通行規制や安全対策、交通誘導員配置等を関係する施工者と綿密に調整し工事を安全、円滑に進捗させるなど、全体的に極めて優秀な施工となっている▼概要①工事場所=いわき市永崎町田地内②工事概要=機械設備・昇降機設備工事一式(請負額1億5497万4600円)

建設業労働災害防止協会の確実な実施などを通じ、安全で快適な職場環境を形成することが不可欠だ」とあいさつした。労働災害防止に功績のあった13事業場、20人と安全競争で優秀な成績を収めた延べ20社を表彰。来賓の引地睦夫福島労働局長、鈴木典弘農林水産部次長、五十嵐健一農林水産部事務局長が祝辞を述べ、伊藤克義福島労働局長が復旧・復興工事に係る労働災害発生状況と災害防止対策について特別講話した。

重点事項に①死亡災害を全産業の20%以内に減少②リスクアセスメントの確実な実施の推進③建設業労働安全衛生マネジメントシステムの導入の推進④墜落・転落災害、建設機械・クレーン災害、崩壊・倒壊災害など3大災害の削減⑤総合工事業者・専門事業者による自主的安全衛生管理活動の推進⑥震災復旧・復興活動において、安全衛生の専門家による復旧・復興工事に関する安全衛生教育・相談等の推進⑦安全の誓いを掲げた安全の誓いを採択。関係者が一丸となって、安心して健康で働ける快適な職場環境の形成を誓った。

助成金の内容などを学んだ。約25人が受講した。初めに経営委員会担当の石田享也副会長があいさつし、「若い社員の離職率の高さは企業経営上、大きな懸念であり、経営側にとっても、その要因と対応を探り、流出をいかに防ぐかが重要なカギとなる。研修を通じて、今後の企業経営の参考にしてほしい」とあいさつした。研修は2本立てで、福島労働局職業安定部の遠藤聖子職業安定課若年者雇用対策係主任が「若者雇用対策係主任が『若者雇用』について語る」と題して、若者を定着させるための職場づくりの取り組みや、雇用関係の各種助成金について講義した。遠藤主任は①求人②求職の動向③若者が職場定着するために④最近の若

者の傾向と対策④部下を育てる傾向とコーチングスキル⑤人材確保は公正な採用選考から⑥ハローワークによる職場定着支援事業⑦の各項目についてレクチャーした。県内の求人と求職の傾向を見た場合、建設業では震災以降、新規求人が増加する傾向を続けているが、求職者数は横ばいで推移。特に配管工ではこの傾向が強く、充足率は26年度の数字で全産業の21.2%に対し、建設業合計で13.3%、配管工では12.7%にとどまる。建設業では正社員求人の割合が高いが、充足率は正社員求人でも14.4%と低い。また、福島労働局が新規学卒者の離職状況を調査したところ、若者の離職理由は転職希望や体調不良のほか、早期離職者や女子では職場の人間関係や雰囲気など「職場環境」への不満が多いという。就業条件と実際の労働時間の乖離などの理由も多く、男子では「きつくない」「面白くない」が上位を占めるなど、短期間で仕事を理解せずに安易な離職を選択する傾向が見てとれるとした。

最近の若者気質と対策も分析。「さとり世代」と言われる若者たちに共通するのは①傷付きたくない②挫折に弱い③大きな夢は持たない④大きな特権で、能力があってもコミュニケーションが不得意とされる⑤こうした若者を社員として育て、定着率を高めていくには、評価や処遇、人材育成の人間関係について適正な雇用管理をすることで、働く意欲や会社への帰属意識を醸成することが大切だと説いた。実際あった例として、新入社員がSNSなどを通じて後輩に、就職した

空衛協のうごき

- 【7月】
 - ▽10日 建設事業関係功労者国土大臣表彰式(松原会長) 国土交通省
 - ▽15日 「フォーラム・がんばろう!東北」(猪狩専務) 江陽グランドホテル
 - ▽23日 「富士教育センター」取組事業セミナー(猪狩専務) 県建設センター
 - ▽30日 県営繕課との意見交換会(松原会長、副会長、各支部長)福島管工事会館
- 【8月】
 - ▽5日 県建設産業団体連合会平成27年度第3回参学会(猪狩専務) 県建設センター
 - ▽7日 県庁挨拶まわり(松原会長、千葉副会長) 県庁
 - ▽24日 県建設産業団体連合会平成27年度第4回参学会(猪狩専務) 県建設センター
- 【9月】
 - ▽2日 日本空調衛生工事業協会東北支部平成27年度第1回正副支部長会議(松原会長) 宮城県管工事会館
 - ▽2日 東北空調衛生工事業協会平成27年度第4回理事会(松原会長) 宮城県管工事会館
 - ▽3日 県建設産業団体連合会平成27年度第6回理事会(松原会長) 県庁
 - ▽3日 平成27年度県予算編成に関する県議会各党要望聴取会(松原会長) 県庁
 - ▽3日 日本空調衛生工事業協会全国事務局代表者会議(猪狩専務) 品川プリンスホテル
 - ▽7日 平成27年度県優良建設工事表彰式(松原会長) 杉妻会館
 - ▽9日 平成27年度特別技術講習会(川津副会長、技術委員) 県青少年会館
- 【10月】
 - ▽15日 平成27年度第2回総務委員会(千葉副会長、総務委員) 協会事務所
 - ▽17日 日本空調衛生工事業協会東北支部平成27年度総会(松原会長) 江陽グランドホテル
 - ▽24日 平成27年度東北地方工務安全施工推進大会(猪狩専務) 日立システマズホール仙台
 - ▽8日 東北空調衛生工事業協会平成27年度第5回理事会(松原会長) 宮城県管工事会館
 - ▽15日 伊藤税理士による中間監査指導(根本事務職員、猪狩専務) 協会事務所
 - ▽23日 県・県建設産業団体連合会平成27年度優良施工者顕彰式(松原会長) 高橋建設工業所・京極洋一氏受賞) 杉妻会館
 - ▽23日 中間監査(高橋、上西監事、会計理事、会長、事務局長) 協会事務所
 - ▽23日 平成27年度第2回役員会・理事会(松原会長) 県建設産業団体連合会平成27年度第7回理事会(他役員) 福島管工事会館
 - ▽27日 県造園建設業協会設立40周年記念講演会(猪狩専務) ウェディングエリテイ
 - ▽27日 ふくしま復興住宅供給促進会議(いわき支部会長) 県いわき合同庁舎
 - ▽28日 日本空調衛生工事業協会第22回全国会議(松原会長) 金沢市
- 【11月】
 - ▽5日 東北空調衛生工事業協会平成27年度第6回理事会(松原会長) 宮城県管工事会館
 - ▽5日 再生可能エネルギーフォーラム・土湯温泉2015(猪狩専務、根本事務職員) 福島テルサ
 - ▽9日 秋の叙勲伝達式(倉島設備・渡邊良平氏) 東京プリンスホテル
 - ▽12日 県建設産業団体連合会・太田昭宏前国交大臣との懇談(猪狩専務) 県建設センター
 - ▽24日 県建設産業団体連合会平成27年度第7回理事会(松原会長) 県庁
- 【12月】
 - ▽2日 平成27年度第2回広報委員会(広報委員長、他委員) 協会事務所
 - ▽4日 東北空調衛生工事業協会平成27年度第7回理事会(松原会長) 宮城県管工事会館
 - ▽4日 平成27年度建築設備工事東北ブロック会議(松原会長、猪狩専務) 江陽グランドホテル
 - ▽24日 年末挨拶まわり(松原会長、千葉副会長、猪狩専務) 県庁



われら空衛マン

チームとしての現場管理

クレハ設備(株) 渡辺 圭二

私は今年4月で空衛マン歴24年目になりました。昔から一途な私は、転職する事無く現在の会社で頑張ってきました。入社してからの大きな現場では職人さんの言葉に右往左往し、訳も分からず駆けずり

回っていました。結果、何をしていたのかわからないままに現場は竣工を迎えました。でも達成感や生気にもありません。現在は昔とは違ってパソコンも携帯電話も

ありました。「俺がいなくても完成したかもしれないが、俺がいたら完成出来たんだ」とポジティブに考え一人満足していました。

「人」が存在します。「人」をうまく動かさない現場代理人はどんなに優秀な技術力を持っていても、現場はうまく動かせません。私は、工事業者を選定する時はひとつの

チームとして機能出来るかどうかを考え業者を選びました。私的にはガッツポーズです。各業者と必要となる「チーム力」もお互い様なので、現場を進めるには必ず「人」が存在します。そのためには、私が信頼されていることが絶対条件です。現在進行中の元請業者の担当者「衛生器具搬入なのに、ダクト屋さんや空調屋さんと一緒に手を高のチームを作ってください」と思っています。

りました。「俺がいなくても完成したかもしれないが、俺がいたら完成出来たんだ」とポジティブに考え一人満足していました。

「人」が存在します。「人」をうまく動かさない現場代理人はどんなに優秀な技術力を持っていても、現場はうまく動かせません。私は、工事業者を選定する時はひとつの

河川清掃通じ水環境保全に貢献

参加。参加者は河川敷や公園に捨てられた空き缶やペットボトル、煙草の吸い殻、ビニール類などのゴミの回収に汗を流した。

作業の終了後には、両団体が同居する福島管工事会館で芋煮会を開き、交流を深めた。

参加。参加者は河川敷や公園に捨てられた空き缶やペットボトル、煙草の吸い殻、ビニール類などのゴミの回収に汗を流した。

作業の終了後には、両団体が同居する福島管工事会館で芋煮会を開き、交流を深めた。

卸・メーカーと情報交換会

県中・県南支部 当協会中・県南支部は昨年11月24日、郡山市の郡山ビューホテルアネックスで情報交換会を開いた。

県中・県南支部 当協会中・県南支部は昨年11月24日、郡山市の郡山ビューホテルアネックスで情報交換会を開いた。

施工上の課題解決などで意見交換

会津 会津若松建設事務所と当協会会津支部、県建設業協会会津支部の意見交換会が昨年11月20日、会津若松市の全会津電気工事協同組合会館で開催され、県側から喜多方建設事務所、大峠日中総合管理事務所、南会津建設事務所、会津大学の各担当者を交えて県発注工事現場での施工上の課題、疑問点や要望について質疑応答を行った。

会津 会津若松建設事務所と当協会会津支部、県建設業協会会津支部の意見交換会が昨年11月20日、会津若松市の全会津電気工事協同組合会館で開催され、県側から喜多方建設事務所、大峠日中総合管理事務所、南会津建設事務所、会津大学の各担当者を交えて県発注工事現場での施工上の課題、疑問点や要望について質疑応答を行った。

復興公営住宅の整備で意見交換

いわき 当協会いわき支部は昨年10月27日、県いわき合同庁舎で

いわき 当協会いわき支部は昨年10月27日、県いわき合同庁舎で

エヌエス工業、大越工業所 郡山市 優良工事を受賞

郡山市の平成27年度優良工事表彰を、当協会から(株)エヌエス工業(東日本震災による市立中央公民館改築地中熱式空調設備外)、(株)大越工業所(都市計画道路日和田2

号線道路維持補修)の2社が受賞した。表彰式は昨年11月17日、市役所正庁で行われ、品川萬里市長から各社の代表者と現場代理人に賞状が贈られた。

26年度に竣工した224件の対象工事から工事の出来形、品質管理、安全管理等に照らして優れたものとして選ばれた。

品川市長が「受賞を契機に一層の技術向上、人材の育成に努め、建設業界の模範としてさらに尽力。市勢発展に貢献してほしい」と呼びかけた。

新年あけましておめでとございます。本年もではないかととうとう「空衛ふくしま」をよろしくお願ひします。

昨年は、日本ラグビー界において画期的な一年になったのではないかと思われます。ワールドカップにおける日本代表の活躍、我々も試合結果に一喜一憂したものでし、その当時は、日本代表ラガーマン達がテレビ

編集後記

に出演しない日がないの当県の復興も、同様な一時の盛り上がりで終わらせてはいけません。国民グリーも男女ともオリンの記憶から風化させてはならない。本年は、人手不足や資材の高騰などいろいろな障害もありません。東日本大震災における

委員 木幡 安

総合建設資材取扱商社

高田産商株式会社

代表取締役社長 沼田 重一

営業本部 961-0831 福島県白河市老久保126-1 TEL 0248-27-8800(代) FAX 0248-27-3697

本社・工場 963-6131 福島県東白川郡棚合町字中居野96-1 TEL 0247-33-3101(代) FAX 0247-33-2142

郡山営業所 963-0726 福島県郡山市緑町29-7 TEL 024-944-6330(代)

いわき営業所 970-8036 福島県いわき市平谷川瀬字神山町70-1 TEL 0246-38-8831(代) FAX 0246-38-8832

スピード・技術・確かな知識

隙間産業の頂点を目指します

株式会社 日伸

会津支店/会津若松市町北町大字上荒久田字宮下63 TEL (0242) 39-2244

二本松支店/二本松市油井字野辺38-1 TEL (0243) 62-4766